

もりのともだち、ひみつのともだち



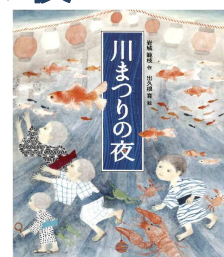
原京子／作
高橋和枝／絵
ポプラ社
913/ハキ

ていがくねんむ

低学年向け

まゆは、^{もり}森であつたきつねのコンタとてが^{もり}みのやりとりをしています。なつやすみに、コンタのいる森にでかけ、ふたりは^{ひさ}久しぶりにいっしょにあそびます。そこでちょっとこまったことが起こり……。ふたりはどのようにきりぬけるのでしょうか。7月23日は文月^{がつ}ふ^{にち}みの^{ふみつき}日。あなたもだれかにてがみをかいてみませんか？

川まつりの夜



岩城範枝／作
出久根育／絵
フレーベル館
EL/カ

ひとりでおじいちゃんのうちにあそびにきたリュウ。よる、ふしぎなたいこのねいろにさそわれて、うらぐちのとをあけてみると——。かつて、川^{かわ}があつたばしよで、生きものたちが一年にいちどあつまる「川まつり」。まるでゆめのなかにいるような、ふしぎでげんそうてきなものがたりです。

ウェズレーの国



ポール・フライシュマン／作
ケビン・ホークス／絵
千葉茂樹／訳
あすなろ書房
EW/ウ

ちゅうがくねんむ

中学年向け

ウェズレーには友だちがいません。町のほかの子とはちょっとちがっていますが、自分の考えをもっているの^なで、仲間外れにされても平気です。そんなウェズレーが、なつやす^{じゅうけんきゅう}の自由研究で、自分で作物を育てて自分だけの文明をつくります。その様子がとっても楽しそうなので、ウェズレーを仲間外れにしていた子たちも興味津々。夏休みが明け、学校が始まった頃には……。最後のページが見ものです。

はじめましての ダンネバード



工藤純子／作
マコカワイ／絵
くもん出版
913/ヅ

ネパールからやってきた転校生のエリサちゃん。全然、みんなとしゃべらないし、いつも少し怒っているみたい。学校にも来ない日が続いていたある日、ぼくは学校の「弟子入り体験」でレストランに行くことに。そこは偶然、エリサちゃんのお父さんのカレー屋さんだった——。ネパール語で「ありがとう」を意味する「ダンネバード」。ぼくはエリサちゃんに伝えることができるのでしょうか。

すごいゴミのはなし



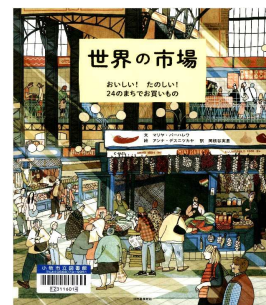
滝沢秀一／文
スケラッコ／イラスト
萩原まお／イラスト
学研プラス (Gakken)
518

こうがくねんむ

高学年向け

みんなが毎日のように出す、ゴミ。そのゴミを回収するという大事な仕事、ゴミ清掃員。現役ゴミ清掃員兼お笑い芸人である著者が、ゴミ収集の現場の豊富なエピソードをわかりやすく紹介してくれます。ゴミを減らすための一人ひとりのちょっとした心がけがいかに大切か等、身近なゴミのはなしから地球の未来を考えるきっかけになる、おもしろくてためになる本です。

世界の市場 おいしい！ たのしい！ 24のまちでお買い物



マリヤ・バーハレワ／文
アンナ・デスニツカヤ／絵
岡根谷実里／訳
河出書房新社
E/セ

観光用ではない、地元の人たちが普段行くような場所を見て回るのは旅の醍醐味の一つです。現地の人たちの食を支える市場（マーケット）はその一つ。世界には私たち日本人には馴染みのない、まだ見たことのないような食材や人々の暮らしがあることを再認識させてくれる一冊です。